

令和5年度 事務事業評価表

9330

一般会計

事務事業名	シルバー人材センター支援事業		
事務事業担当	部 名 健康福祉部	課 名 人生100年推進課	担当名 長寿福祉係 責任者 民實 健二

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	人の健康・いつまでも元気でいられるまち		
	個別目標	健康寿命を延伸する		
	めざす成果	一人ひとりが健康づくりに取り組み元気で暮らしている		
根拠法令	名 称	高年齢者等の雇用の安定等に関する法律		
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度 昭和56年度		事業終了（予定）年度	事業期間 設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費				(単位 : 千円)		
		4年度 (決算額)	5年度 (決算額)	6年度 (予算額)			
	事業費	44,168	46,398	46,421			
	人件費	372	376	376			
目的		総事業費	44,540	46,774	46,797		
高年齢者の経験と能力を生かし、生きがいとして就業の機会を提供している（公社）大和市シルバー人材センターの運営を支援します。		6年度事業費（予算額）財源内訳					
手段、手法【実施手法：直営】		国支出金				0	
・補助金を交付します。 ・事業運転資金の貸付等の支援を実施します。		県支出金				0	
		市債				0	
		その他				15,000	
		一般財源				31,421	
		合 計				46,421	
3. 活動内容							
成 果（効果・予測）	活動指標1	名称	民間からの受注割合			単位 %	
	内容説明	受注総件数に占める民間件数の割合					
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度			
		予 定	94	94	94		
課 題		活動指標2		実 績	96	95	---
	名称				単位		
	内容説明						
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度			
			予 定				
			実 績			---	
活動指標3	名称				単位		
	内容説明						
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度			
		予 定					
		活動指標4		実 績			---
	名称				単位		
	内容説明						
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度			
			予 定				
			実 績			---	

4. 今後の方針等

3年度 I : 現状のまま継続	4年度 I : 現状のまま継続	5年度 I : 現状のまま継続	6年度 I : 現状のまま継続
今後も継続して（公社）大和市シルバー人材センターへの支援、協力をを行い、高年齢者の生きがいづくり、地域社会への参画及び健康増進を図ります。			
【第2期「健康都市やまと」まち・ひと・しごと創成総合戦略関連事業】			
今後の方針等			

5. 評価結果

市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	3年度	4年度	5年度	A : 市が関与する必要性が高い。 高年齢者の経験と能力を活かし、生きがいとして就労機会を提供する（公社）大和市シルバー人材センターへ、補助金交付、事業運転資金の貸付け等の支援を行っていることから、市が関与する必要性は高いです。
	A	A	A	
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	3年度	4年度	5年度	A : 十分に成果を上げている。 多くの高年齢者の就業の場を担っていることから、十分な成果を上げています。
	A	A	A	
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	3年度	4年度	5年度	A : 経費は適正な水準である。 現在の成果を維持する上では、適正な水準です。
	A	A	A	
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	3年度	4年度	5年度	A : 受益・負担は適正である。 高年齢者の生きがいづくりや地域社会への参加及び、健康増進を目的として支援を行っていることから、受益・負担は適正と考えられます。
	A	A	A	
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、S D G s の達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	3年度	4年度	5年度	A : 社会的配慮を十分に行っている。 会員募集及び仕事依頼のP R を積極的に行い市民参加を促進するとともに、積極的で多様な情報提供を実施しています。
	A	A	A	

令和5年度 事務事業評価表

9336

一般会計

事務事業名	高齢者見守り事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健康福祉部	人生100年推進課	長寿福祉係	民實 健二

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	人の健康・一人ひとりがささえの手を実感できるまち
	個別目標	高齢の方や障がいのある方への支援を充実する
	めざす成果	高齢の方やその家族が、不安・負担を取り除くために必要な支援を受けられる
根拠法令	名 称	
当該事業の法令等による義務付けの有無	無	
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度
	昭和63年度	設定無し

2. 事務事業の概要

対象 市内在宅高齢者	総事業費				(単位 : 千円)
		4年度(決算額)	5年度(決算額)	6年度(予算額)	
	事業費	18,975	20,713	22,041	
	人件費	8,795	9,763	9,763	
目的 在宅高齢者の日常生活における不安を解消します。	総事業費	27,770	30,476	31,804	
手段、手法【実施手法：直営・委託】 ・高齢者見守り（緊急通報）システムにより、相談や緊急時の対応を行います。 ・声かけ訪問調査、在宅介護認定者調査を実施し、高齢者の見守り支援に活用します。	6年度事業費（予算額）財源内訳				
	国支出金			0	
	県支出金			0	
	市債			0	
	その他			0	
	一般財源			22,041	
	合計			22,041	
成 果（効果・予測） ・ひとり暮らし高齢者等の在宅生活の維持と環境の向上が図られます。 ・ひとり暮らし高齢者等の身体状況や緊急連絡先を把握し、地域包括支援センター、民生委員児童委員と情報を共有することによって、地域における見守り体制の強化が図られます。	3. 活動内容				
活動指標1	名称	高齢者見守り（緊急通報）システム利用者数			単位
	内容説明	年度末のシステム利用者数			人
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定	750	757	763
活動指標2	名称				単位
	内容説明				
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定			
活動指標3	名称				単位
	内容説明				
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定			
活動指標4	名称				単位
	内容説明				
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定			
	名称				単位
	内容説明				
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定			
	名称				単位
	内容説明				
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定			
	名称				単位
	内容説明				
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定			
	名称				単位
	内容説明				
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定			
	名称				単位
	内容説明				
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定			
	名称				単位
	内容説明				
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定			
	名称				単位
	内容説明				
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定			
	名称				単位
	内容説明				
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定			
	名称				単位
	内容説明				
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定			
	名称				単位
	内容説明				
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定			
	名称				単位
	内容説明				
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定			
	名称				単位
	内容説明				
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定			
	名称				単位
	内容説明				
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定			
	名称				単位
	内容説明				
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定			
	名称				単位
	内容説明				
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定			
	名称				単位
	内容説明				
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定			
	名称				単位
	内容説明				
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定			
	名称				単位
	内容説明				
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定			
	名称				単位
	内容説明				
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定			
	名称				単位
	内容説明				
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定			
	名称				単位
	内容説明				
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定			
	名称				単位
	内容説明				
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定			
	名称				単位
	内容説明				
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定			
	名称				単位
	内容説明				
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定			
	名称				単位
	内容説明				
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定			
	名称				単位
	内容説明				
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定			
	名称				単位
	内容説明				
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定			
	名称				単位
	内容説明				
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定			
	名称				単位
	内容説明				
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定			
	名称				単位
	内容説明				
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定			
	名称				単位
	内容説明				
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定			
	名称				単位
	内容説明				
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定			
	名称				単位
	内容説明				
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定			
	名称				単位
	内容説明				
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定			
	名称				単位
	内容説明				
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定			
	名称				単位
	内容説明				
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定			
	名称				単位
	内容説明				
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定			
	名称				単位
	内容説明				
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定			
	名称				単位
	内容説明				
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定			
	名称				単位
	内容説明				
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定			
	名称				単位
	内容説明				
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定			
	名称				単位
	内容説明				
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定			
	名称				単位
	内容説明				
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定			
	名称				単位
	内容説明				
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定			
	名称				単位
	内容説明				
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定			
	名称				単位
	内容説明				
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定			
	名称				単位
	内容説明				
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定			</

4. 今後の方針等

今後の方針等	3年度	II : 見直しのうえで継続	4年度	I : 現状のまま継続	5年度	I : 現状のまま継続
当該事業は、在宅高年齢者等を見守る上で欠かせない事業になっており、今後も必要時に適切な支援を提供できる体制を整備・維持していきます。						

5. 評価結果

市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	3年度	4年度	5年度	A : 市が関与する必要性が高い。 高齢者の命を守るために事業であり、市が責任を持って対応する必要性があります。
	A	A	A	
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	3年度	4年度	5年度	A : 十分に成果を上げている。 高齢者の増加に伴い、利用者数も年々増加しています。
	A	A	A	
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	3年度	4年度	5年度	A : 経費は適正な水準である。
	A	A	A	新規及び撤去工事、保守対応については委託先の事業者負担となっています。緊急時の対応については委託先のコールセンターが対応していること、申込窓口は地域包括支援センターに委託をしていることから、市職員の人事費も適正な水準です。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	3年度	4年度	5年度	A : 受益・負担は適正である。 介護保険の所得段階に応じて、利用者に自己負担を求めており、適正と考えられます。
	A	A	A	
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	3年度	4年度	5年度	A : 社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	利用対象者に説明用リーフレットを作成するなど、積極的に多様な情報提供を行っています。

令和5年度 事務事業評価表

12792

特別会計

事務事業名	介護予防・生活支援サービス事業（長寿福祉関連）			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者

健康福祉部 人生100年推進課 いきいき推進係 民實 健二

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	人の健康・一人ひとりがささえの手を実感できるまち		
	個別目標	高齢の方や障がいのある方への支援を充実する		
	めざす成果	高齢の方やその家族が、不安・負担を取り除くために必要な支援を受けられる		
根拠法令	名 称	介護保険法		
当該事業の法令等による義務付けの有無	有			
事務事業の期間	事業開始年度 平成29年度	事業終了（予定）年度	事業期間 設定無し	

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費				(単位 : 千円)	
		4年度 (決算額)	5年度 (決算額)	6年度 (予算額)		
	事業費	32, 242	34, 467	46, 181		
	人件費	14, 894	15, 020	15, 020		
総事業費						
47, 136						
6年度事業費 (予算額) 財源内訳						
国支出金 10, 774						
県支出金 5, 766						
市債 0						
その他 12, 463						
一般財源 17, 178						
合 計 46, 181						

3. 活動内容

活動指標1	名称	通所型サービスC (運動機能向上講習) 利用者数			単位	人	
	内容説明	事業対象者が講座を受講した人数					
	指標値	4年度	5年度 (当該年度)	6年度			
		予 定	155	170	170		
活動指標2	名称	通所型サービスC (運動口腔機能向上講習) 利用者数			単位	人	
	内容説明	事業対象者が講座を受講した人数					
	指標値	4年度	5年度 (当該年度)	6年度			
		予 定	60	65	60		
活動指標3	名称	通所型サービスC (心身機能向上講習) 利用者数			単位	人	
	内容説明	事業対象者が講座を受講した人数					
	指標値	4年度	5年度 (当該年度)	6年度			
		予 定	150	160	160		
活動指標4	名称	通所型サービスB実施会場数			単位	箇所	
	内容説明	通所型サービスBを実施している会場数					
	指標値	4年度	5年度 (当該年度)	6年度			
		予 定	5	6	4		

4. 今後の方針等

今後の方針等	3年度 I : 現状のまま継続	4年度 I : 現状のまま継続	5年度 I : 現状のまま継続	
	・要支援者等が閉じこもりによる生活機能の著しい低下に陥らないよう、通所型と訪問型サービスを実施します。	・介護予防アンケートの結果等を活用してサービスを必要とする事業対象者等に事業の周知や受講勧奨を行います。	・超高齢社会の進展に対応できるよう引き続き住民主体のサービスの充実を図ります。	

5. 評価結果

市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	3年度	4年度	5年度	A : 市が関与する必要性が高い。 住み慣れた地域で自立した生活を続けていくために、介護予防について市が関与する必要があります。
	A	A	A	
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	3年度	4年度	5年度	B : 成果を上げる余地が一部ある。 高年齢者の増加に伴い、より多くの方に利用してもらえるよう実施方法等を検討する余地があります。
	B	B	B	
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	3年度	4年度	5年度	A : 経費は適正な水準である。
	A	A	A	社会福祉法人等の持つ専門性を活用するため、委託により事業を実施しており、事業費は適正な水準を保っています。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	3年度	4年度	5年度	A : 受益・負担は適正である。 介護予防に対する支援が必要となる基本チェックリストの該当者、介護保険の要支援者を対象とした事業であり、受益と負担については適性な水準になっています。
	A	A	A	
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	3年度	4年度	5年度	A : 社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	市ホームページ、広報やまとなどの広告媒体やパンフレット発行により、幅広い情報提供を行うことで利用促進を図っています。

令和5年度 事務事業評価表

12812

特別会計

事務事業名	包括的支援事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者

健康福祉部 人生100年推進課 いきいき推進係・認知症施 民實 健二

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	人の健康・一人ひとりがささえの手を実感できるまち		
	個別目標	高齢の方や障がいのある方への支援を充実する		
	めざす成果	高齢の方やその家族が、不安・負担を取り除くために必要な支援を受けられる		
根拠法令	名 称	介護保険法		
当該事業の法令等による義務付けの有無	有			
事務事業の期間	事業開始年度 平成18年度	事業終了（予定）年度	事業期間 設定無し	

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費				(単位 : 千円)	
		4年度(決算額)	5年度(決算額)	6年度(予算額)		
	事業費	289, 646	299, 218	324, 621		
	人件費	40, 959	42, 807	42, 498		
	総事業費	330, 605	342, 025	367, 119		
目的	6年度事業費(予算額) 財源内訳					
	国支出金		148, 711			
	県支出金		62, 492			
	市債		0			
	その他		0			
	一般財源		113, 418			
	合 計		324, 621			
3. 活動内容						
活動指標1	名称	相談件数			単位	件
	内容説明	地域包括支援センターへの相談件数				
	指標値	4年度	5年度(当該年度)	6年度		
		予 定	82, 800	85, 800	80, 000	
活動指標2	名称	実態把握件数			単位	件
	内容説明	訪問等で実態を把握した対象者の個人記録表の作成件数				
	指標値	4年度	5年度(当該年度)	6年度		
		予 定	1, 450	1, 760	1, 600	
活動指標3	名称	訪問件数			単位	件
	内容説明	地域包括支援センターが対象者を訪問した件数				
	指標値	4年度	5年度(当該年度)	6年度		
		予 定	15, 400	15, 500	15, 000	
活動指標4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値	4年度	5年度(当該年度)	6年度		
		予 定				
	実 績	1, 725	1, 582	---		

4. 今後の方針等

今後の方針等	3年度	II : 見直しのうえで継続	4年度	II : 見直しのうえで継続	5年度	I : 現状のまま継続
	・認知症サポート医との連携を強化して初期集中支援の充実を図るほか、認知症カフェの開催方法を再検討し、認知症の本人の意見を聴く取り組みに力をいれていきます。					

5. 評価結果

市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	3年度	4年度	5年度	A : 市が関与する必要性が高い。 介護保険法に基づき、地域包括ケアの推進を図る必要があることから市が関与する必要性があります。
	A	A	A	
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	3年度	4年度	5年度	A : 十分に成果を上げている。 地域包括支援センター等や協議会、認知症地域支援推進員等、様々な主体が地域で連携しながら地域づくりが行われています。
	A	A	A	
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	3年度	4年度	5年度	A : 経費は適正な水準である。 経費は適正な水準です。
	A	A	A	
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	3年度	4年度	5年度	A : 受益・負担は適正である。 あらゆる市民の高齢期に必要な支援の体制整備を図っていることから、受益・負担は適正です。
	A	A	A	
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	3年度	4年度	5年度	A : 社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	多くの市民が参加、利用することができるよう多様な媒体を使って事業周知を図っています。また、地域包括支援センターは地域ごとに9か所設置しており、より身近な場所で事業を利用することができるよう配慮しています。

令和5年度 事務事業評価表

12816

特別会計

事務事業名	地域支援任意事業（長寿福祉関連）			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者

健康福祉部 人生100年推進課 長寿福祉係・認知症施策推 民實 健二

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	人の健康・一人ひとりがささえの手を実感できるまち		
	個別目標	高齢の方や障がいのある方への支援を充実する		
	めざす成果	高齢の方やその家族が、不安・負担を取り除くために必要な支援を受けられる		
根拠法令	名 称	介護保険法 老人福祉法 高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律		
当該事業の法令等による義務付けの有無	一部有			
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間	設定無し
平成18年度				

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費				(単位 : 千円)	
		4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）		
	事業費	18,878	19,419	24,469		
	人件費	16,788	20,277	19,659		
要介護高年齢者等とその介護者	総事業費	35,666	39,696	44,128	6年度事業費（予算額）財源内訳	
目的	国支出金				9,362	
要介護高年齢者等及びその介護者に対して、介護負担の軽減を図り、より安心して在宅生活が送れるように支援します。	県支出金				4,678	
手段、手法【実施手法：直営・委託】	市債				0	
紙おむつ支給事業、はいかい高齢者等SOSネットワーク事業のほか、家族介護教室、認知症相談・介護者交流会、家族介護慰労金支給事業、成年後見制度利用支援事業、生活援助員派遣事業、認知症サポーター養成講座などを実施します。	その他				152	
成 果（効果・予測）	一般財源				10,277	
ご本人やその介護者の方の心身の負担、経済的負担の軽減が図れます。	合 計				24,469	
課 題	活動指標1	名称 紙おむつ支給枚数	単位	枚	3. 活動内容	
高齢の方の在宅での生活継続を支援するため、より有効に制度が活用されるよう周知および関係機関との連絡調整・協力が必要です。	内容説明	(年間)			4年度	
	指標値	予 定	43,000	30,000	5年度（当該年度）	6年度
		実 績	28,503	26,965	---	---
	活動指標2	名称 はいかい高齢者等SOSネットワーク登録者数	単位	人	4年度 <td data-kind="ghost"></td>	
	内容説明	年度末のネットワーク登録者数			5年度（当該年度）	6年度
	指標値	予 定	400	400	400	
		実 績	372	371	---	---
	活動指標3	名称 認知症サポーター養成講座	単位	回	4年度 <td data-kind="ghost"></td>	
	内容説明	講座開催数にともなう全国事務局への報告、管理			5年度（当該年度）	6年度
	指標値	予 定	50	50	50	
		実 績	37	58	---	---
	活動指標4	名称 介護者教室開催回数	単位	回	4年度 <td data-kind="ghost"></td>	
	内容説明	開催回数に応じた広報掲載とチラシによる周知の回数			5年度（当該年度）	6年度
	指標値	予 定	42	44	43	
		実 績	42	44	---	---

4. 今後の方針等

3年度 I : 現状のまま継続	4年度 I : 現状のまま継続	5年度 I : 現状のまま継続	6年度 I : 現状のまま継続
地域による見守りと介護者の負担軽減、更に認知症の方への理解や権利擁護を推進するため、事業を継続していくきます。			
今後の方針等			

5. 評価結果

市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	3年度	4年度	5年度	A : 市が関与する必要性が高い。 介護保険法に基づき、市が関与する必要があります。
	A	A	A	
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	3年度	4年度	5年度	A : 十分に成果を上げている。 地域の見守り体制の構築や、介護者家族等をサポートする体制が整備されています。
	A	A	A	
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	3年度	4年度	5年度	A : 経費は適正な水準である。 経費は適正な水準です。
	A	A	A	
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	3年度	4年度	5年度	A : 受益・負担は適正である。 介護保険法に基づき実施していることから受益・負担は適正です。
	A	A	A	
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	3年度	4年度	5年度	A : 社会的配慮を十分に行っている。 市民参加・情報提供の促進を図っています。また、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組みを進めています。
	A	A	A	

令和5年度 事務事業評価表

40950

一般会計

事務事業名	認知症施策推進事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	人の健康・一人ひとりがささえの手を実感できるまち		
	個別目標	高齢の方や障がいのある方への支援を充実する		
	めざす成果	高齢の方やその家族が、不安・負担を取り除くために必要な支援を受けられる		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無	無			
事務事業の期間	事業開始年度 平成29年度	事業終了（予定）年度		事業期間 設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費				(単位 : 千円)	
		4年度 (決算額)	5年度 (決算額)	6年度 (予算額)		
	事業費	995	980	1,632		
	人件費	9,011	9,087	9,087		
目的		総事業費	10,006	10,067	10,719	
認知症の人やその家族が安心して暮らせる環境を整えます。		6年度事業費 (予算額) 財源内訳				
		国支出金			0	
		県支出金			0	
		市債			0	
		その他			0	
		一般財源		1,632	1,632	
		合 計			1,632	
3. 活動内容						
活動指標1	名称	はいかい高齢者個人賠償責任保険加入者数			単位	人
	内容説明	年度保険加入者実人数				
	指標値	4年度	5年度 (当該年度)	6年度		
		予 定	500	520	520	
活動指標2	名称				単位	
	内容説明					
	指標値	4年度	5年度 (当該年度)	6年度		
		予 定				
活動指標3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値	4年度	5年度 (当該年度)	6年度		
		予 定				
活動指標4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値	4年度	5年度 (当該年度)	6年度		
		予 定				

4. 今後の方針等

今後の方針等	3年度	I : 現状のまま継続	4年度	I : 現状のまま継続	5年度	I : 現状のまま継続
	30年度から継続して同じ保険内容を活用しています。 保険加入は個人の経済状況に依存する部分もあり、全ての人が加入できるものではないことから、今後も市がまとめて加入する現状の方法で事業を継続していきます。また、引き続き適切な保険内容について検討していきます。 【第2期「健康都市やまと」まち・ひと・しごと創成総合戦略関連事業】					

5. 評価結果

市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	3年度	4年度	5年度	A : 市が関与する必要性が高い。 個人の経済状況に依存する部分もあり、全ての人が加入できるものではないことから、市がまとめて加入して公的な事業として実施することで、認知症になっても安心して暮らし続けられる地域づくりにつながるを考えます。
	A	A	A	
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	3年度	4年度	5年度	A : 十分に成果を上げている。 認知機能の低下を原因として、過失による事故を起こす可能性のある市民やその家族が事業を積極的に活用しており、十分に成果を上げています。
	A	A	A	
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	3年度	4年度	5年度	A : 経費は適正な水準である。 経費は適正な水準です。
	A	A	A	
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	3年度	4年度	5年度	A : 受益・負担は適正である。 認知症の人や家族、地域住民、どの主体にとっても便益あるものとなっています。
	A	A	A	
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	3年度	4年度	5年度	A : 社会的配慮を十分に行っている。 多様な媒体を活用して事業周知を行っています。また、毎年契約更新時に事業の利用方法に関する再周知を行うほか、ケアマネジャーへの事業説明を適宜実施しています。
	A	A	A	

令和5年度 事務事業評価表

43118

一般会計

事務事業名	おひとりさま施策推進事業			
事務事業担当	部 名 健康福祉部	課 名 人生100年推進課	担当名 おひとりさま施策推進係	責任者 民實 健二

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	人の健康・一人ひとりがささえの手を実感できるまち		
	個別目標	高齢の方や障がいのある方への支援を充実する		
	めざす成果	高齢の方やその家族が、不安・負担を取り除くために必要な支援を受けられる		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無	無			
事務事業の期間	事業開始年度 平成30年度	事業終了（予定）年度	事業期間 設定無し	

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費				(単位 : 千円)	
		4年度 (決算額)	5年度 (決算額)	6年度 (予算額)		
	事業費	1,488	1,598	1,303		
	人件費	25,726	30,040	22,530		
目的	総事業費	27,214	31,638	23,833		
主に高齢のひとり暮らしの方々などが健康で安心して暮らせるよう、おひとりさま施策の推進を図ります。	6年度事業費 (予算額) 財源内訳					
	国支出金			0		
	県支出金			0		
	市債			0		
	その他			0		
	一般財源			1,303		
	合 計			1,303		
手段、手法【実施手法：直営】	3. 活動内容					
・協力葬祭事業者、司法書士等の専門家との連携により、葬儀・納骨・財産整理などに関する相談受付、葬儀等の生前契約に関する支援を行います。	活動指標1	名称	相談件数		単位	件
・講演会などのイベントや講座を実施し、終活の周知・啓発を行います。		内容説明	葬儀や納骨に関する市民からの相談件数			
・高齢のひとり暮らしの方が相談できる窓口等を掲載したガイドブックの配布や、ひとりでも気軽に参加できる市のイベントをホームページで周知するなど、おひとりさまに役立つ情報を発信します。		指標値	4年度	5年度 (当該年度)	6年度	
成 果 (効果・予測)		予 定	200	300	330	
		実 績	233	309	---	---
課 題	活動指標2	名称	講演会等の開催回数		単位	回
高齢のひとり暮らしの方が増加する中で、市民の終活に対する認識を深め、自ら主体的に取り組むことができるよう環境を整えるとともに、おひとりさまになんでも、安心して過ごすことができるよう、社会とのつながりを持てるよう支援していくことが求められます。		内容説明	終活やおひとりさま支援に関する講演会・講座などの開催回数			
		指標値	4年度	5年度 (当該年度)	6年度	
		予 定	4	20	15	
		実 績	15	15	---	---
	活動指標3	名称			単位	
		内容説明				
		指標値	4年度	5年度 (当該年度)	6年度	
		予 定				
		実 績			---	---
	活動指標4	名称			単位	
		内容説明				
		指標値	4年度	5年度 (当該年度)	6年度	
		予 定				
		実 績			---	---

4. 今後の方針等

3年度	II : 見直しのうえで継続	4年度	II : 見直しのうえで継続	5年度	II : 見直しのうえで継続
相続や遺言など専門的な終活の相談にも対応できるよう、司法書士会や葬祭事業者などの専門家との連携を強化するとともに、講演会などのイベントを通して、市民が終活に取り組むきっかけを提供します。 また、おひとりさまの外出・交流を支援するため、おひとりさまに役立つ情報を発信していきます。 【第2期「健康都市やまと」まち・ひと・しごと創生総合戦略関連事業】					

5. 評価結果

市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	3年度	4年度	5年度	A : 市が関与する必要性が高い。 高齢化の進展に伴い、高齢のおひとりさまの増加が社会の趨勢となるなか、身寄りのないおひとりさまの終活支援が求められています。市のアンケートからも終活に関心はあっても、実際に取り組めている割合は少なく、市民が主体的に終活に取り組むきっかけを提供するためにも市が積極的に関与する必要があります。
	A	A	A	
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	3年度	4年度	5年度	B : 成果を上げる余地が一部ある。 これまでの周知啓発によって「終活」に取り組む意識は定着して参りましたが、終活は多岐にわたるため、実際に取り組むための支援を継続的に行って参ります。また、おひとりさまの死後の不安を解消し、安心して過ごせるよう、終活支援登録に繋げるなど、さらに成果を上げる余地があります。
	B	B	B	
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	3年度	4年度	5年度	A : 経費は適正な水準である。 民間事業者の作成したエンディングノートを無償で寄贈を受けるなどして、最小の経費で最大限の効果が得られるよう工夫しています。
	A	A	A	
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	3年度	4年度	5年度	A : 受益・負担は適正である。 終活に不安がある市民であれば、どなたでも相談の対象としており、公平性は保たれています。
	A	A	A	
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	3年度	4年度	5年度	A : 社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	市ホームページ、広報やまとなどの広報媒体での事業内容の紹介やイベントの周知のほか、ガイドブックやエンディングノート、パンフレットの発行により、幅広い情報提供を行っています。

令和5年度 事務事業評価表

44591

特別会計

事務事業名	一般介護予防事業（認知症施策関連）			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者

健康福祉部 人生100年推進課 認知症施策推進係 民實 健二

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	人の健康・いつまでも元気でいられるまち		
	個別目標	健康寿命を延伸する		
	めざす成果	一人ひとりが健康づくりに取り組み元気で暮らしている		
根拠法令	名 称	介護保険法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		有		
事務事業の期間	事業開始年度 平成18年度		事業終了（予定）年度	事業期間 設定無し

2. 事務事業の概要

対象	総事業費				(単位：千円)		
	事業費	4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）			
		人件費	3,770	4,817			
		総事業費	30,956	36,063			
目的				6年度事業費（予算額）財源内訳			
認知症予防の普及啓発等により、高齢の方が住み慣れた地域で安心して暮らせる地域を構築します。				国支出金	1,077		
				県支出金	606		
				市債	0		
				その他	1,302		
				一般財源	1,832		
				合 計	4,817		
3. 活動内容							
活動指標1	名称	コグニサイズセミナーの参加数			単位	人	
	内容説明	コグニサイズセミナーの参加者延べ人数					
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度			
		予 定	200	200	200		
活動指標2	名称	認知症関連の講演会参加者数			単位	人	
	内容説明	認知症講演会、成年後見制度講演会の参加者数計					
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度			
		予 定	900	900	900		
活動指標3	名称				単位		
	内容説明						
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度			
		予 定	602	412	---		
活動指標4	名称				単位		
	内容説明						
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度			
		予 定					
課題	名称				単位		
	内容説明						
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度			
		予 定					
今後の方針等	名称				単位		
	内容説明						
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度			
		予 定					
今後の方針等	名称				単位		
	内容説明						
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度			
		予 定					
今後の方針等	名称				単位		
	内容説明						
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度			
		予 定					

4. 今後の方針等

3年度	II : 見直しのうえで継続	4年度	II : 見直しのうえで継続	5年度	I : 現状のまま継続
今後の方針等	今後もより多くの市民に利用していただけるよう、周知や事業の開催方法について検討を進めます。				

5. 評価結果

市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	3年度	4年度	5年度	A : 市が関与する必要性が高い。 認知症を正しく理解し将来に備えるためには、市が積極的に関与し、普及啓発を行う必要があります。
	A	A	A	
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	3年度	4年度	5年度	B : 成果を上げる余地が一部ある。 対面、集合で事業を実施することが可能な状況になったことから、さらに多くの市民に事業への参加を促すために周知が必要です。
	B	B	B	
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	3年度	4年度	5年度	A : 経費は適正な水準である。 経費は適正な水準です。
	A	A	A	
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	3年度	4年度	5年度	A : 受益・負担は適正である。 受益・負担は適正であると考えます。
	A	A	A	
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減、SDGsの達成に向けた取り組み5点について十分に行ったか。
	3年度	4年度	5年度	A : 社会的配慮を十分に行っている。 市民が参加しやすい会場や日時を設定など必要な配慮を行っています。
	A	A	A	

令和5年度 事務事業評価表

9324

一般会計

事務事業名	在日外国人高齢者等福祉給付金助成事業			
事務事業担当	部 名 健康福祉部	課 名 人生100年推進課	担当名 長寿福祉係	責任者 民實 健二

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	人の健康・一人ひとりがささえの手を実感できるまち		
	個別目標	高齢の方や障がいのある方への支援を充実する		
	めざす成果	高齢の方やその家族が、不安・負担を取り除くために必要な支援を受けられる		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無	無			
事務事業の期間	事業開始年度 平成10年度	事業終了（予定）年度	事業期間 設定無し	

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費				(単位 : 千円)
		4年度 (決算額)	5年度 (決算額)	6年度 (予算額)	
	事業費	816	556	696	
	人件費	149	150	150	
目的	総事業費	965	706	846	
外国籍の要件等により公的年金の受給要件を制度上満たすことができない人に給付金を支給し、生活を支援します。	6年度事業費（予算額）財源内訳				
手段、手法【実施手法：直営】	国支出金			0	
申請に基づいて、年2回（9月、3月）給付金を支給します。	県支出金			348	
	市債			0	
	その他			0	
	一般財源			348	
	合 計			696	

3. 活動内容

活動指標1	名称	支給件数	単位	件
	内容説明	年間2回支給		
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
	予 定	8	8	4
活動指標2	指標値	実 績	3	---
	名称		単位	
	内容説明			
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
活動指標3	指標値	予 定		
	名称		単位	
	内容説明			
	指標値	実 績		---
活動指標4	名称		単位	
	内容説明			
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
	予 定			

4. 今後の方針等

3年度 I : 現状のまま継続	4年度 I : 現状のまま継続	5年度 I : 現状のまま継続
県と連携し、市内の在日外国人等の高齢者等で公的年金を制度上受給できない人への支援を継続します。		
今後の方針等		

令和5年度 事務事業評価表

9326

一般会計

事務事業名	高齢者入浴サービス事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	人の健康・いつまでも元気でいられるまち		
	個別目標	健康寿命を延伸する		
	めざす成果	一人ひとりが健康づくりに取り組み元気で暮らしている		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無	無			
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間	設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費				(単位 : 千円)	
		4年度 (決算額)	5年度 (決算額)	6年度 (予算額)		
	事業費	5,398	4,220	3,778		
	人件費	343	300	1,051		
目的	総事業費	5,741	4,520	4,829		
65歳以上の市民の心身の健康増進を図ります。	6年度事業費 (予算額) 財源内訳					
	国支出金				0	
	県支出金				0	
	市債				0	
	その他				0	
手段、手法【実施手法：委託】	一般財源			3,778		
・市内公衆浴場を月3回、無料で入浴できるよう、浴場組合へ入浴サービス業務を委託します。	合 計			3,778		

3. 活動内容

活動指標1	名称	利用可能日数			単位	日
	内容説明	年間の浴場の利用可能日数				
		指標値	4年度	5年度 (当該年度)	6年度	
	予 定	108	108	72		
	実 績	108	87	---	---	
活動指標2	名称	対象浴場数			単位	浴場
	内容説明	市内の利用可能浴場数				
		指標値	4年度	5年度 (当該年度)	6年度	
	予 定	3	3	2		
	実 績	3	2	---	---	
活動指標3	名称	年間利用者数			単位	人
	内容説明	一年間の男女の合計利用者数				
		指標値	4年度	5年度 (当該年度)	6年度	
	予 定	10,000	10,000	8,300		
	実 績	10,839	8,268	---	---	
活動指標4	名称				単位	
	内容説明					
		指標値	4年度	5年度 (当該年度)	6年度	
	予 定					
	実 績				---	

4. 今後の方針等

3年度	I : 現状のまま継続	4年度	I : 現状のまま継続	5年度	I : 現状のまま継続
公衆浴場事業者の状況を踏まえ、実施方法等について検討していきます。					
今後の方針等					

令和5年度 事務事業評価表

9327

一般会計

事務事業名	高齢者生きがい活動推進事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者

健康福祉部 人生100年推進課 長寿福祉係 民實 健二

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	人の健康・いつまでも元気でいられるまち		
	個別目標	健康寿命を延伸する		
	めざす成果	一人ひとりが健康づくりに取り組み元気で暮らしている		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無	無			
事務事業の期間	事業開始年度 昭和50年度	事業終了（予定）年度 昭和50年度	事業期間 設定無し	

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費				(単位 : 千円)	
		4年度 (決算額)	5年度 (決算額)	6年度 (予算額)		
老人集会所 : 60歳以上の市民が30人以上で組織する老人クラブ等の団体、高齢者バス借上助成 : 60歳以上の市民が20人以上で利用する団体	事業費	2,352	2,586	3,408		
	人件費	284	150	150		
	総事業費	2,636	2,736	3,558		
6年度事業費（予算額）財源内訳						
	国支出金			0		
	県支出金			0		
	市債			0		
	その他			0		
	一般財源			3,408		
	合 計			3,408		
3. 活動内容						
活動指標1	名称	集会所利用団体数			単位	団体
	内容説明					
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度		
	予 定	70	68	66		
	実 績	64	64	---		
活動指標2	名称	民間バス借上料助成制度申請件数			単位	件
	内容説明					
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度		
	予 定	50	50	50		
	実 績	24	32	---		
活動指標3	名称					単位
	内容説明					
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度		
	予 定					
	実 績					
活動指標4	名称					単位
	内容説明					
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度		
	予 定					
	実 績					

4. 今後の方針等

3年度 I : 現状のまま継続	4年度 I : 現状のまま継続	5年度 I : 現状のまま継続	6年度 I : 現状のまま継続
老人集会所指定・助成については、高齢者の健全な憩いの場の確保において支援する必要があり、引き続き実施していきます。			
生きがいづくりバス借上料助成事業については、利用状況を踏まえ、助成の対象や申請方法などの周知を行い、利用促進を図ります。			

令和5年度 事務事業評価表

9328

一般会計

事務事業名	高齢者福祉農園事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	人の健康・いつまでも元気でいられるまち		
	個別目標	健康寿命を延伸する		
	めざす成果	一人ひとりが健康づくりに取り組み元気で暮らしている		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無	無			
事務事業の期間	事業開始年度 昭和55年度	事業終了（予定）年度	事業期間 設定無し	

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費				(単位 : 千円)
		4年度 (決算額)	5年度 (決算額)	6年度 (予算額)	
	事業費	383	287	288	
	人件費	149	150	150	
目的	総事業費	532	437	438	
高年齢者の健康を維持するとともに、土に親しみを持つことにより、生きがいの増進を図ります。	6年度事業費（予算額）財源内訳				
	国支出金				0
	県支出金				0
	市債				0
	その他				0
	一般財源				288
	合 計				288

3. 活動内容

活動指標1	名称	利用可能箇所数			単位	箇所
	内容説明	高齢者福祉農園として利用可能な土地の箇所数				
	指標値	4年度	5年度 (当該年度)	6年度		
		予 定	2	1	1	
活動指標2	名称				単位	
	内容説明					
	指標値	4年度	5年度 (当該年度)	6年度		
		予 定				
活動指標3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値	4年度	5年度 (当該年度)	6年度		
		予 定				
活動指標4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値	4年度	5年度 (当該年度)	6年度		
		予 定				

4. 今後の方針等

3年度 I : 現状のまま継続	4年度 I : 現状のまま継続	5年度 I : 現状のまま継続
今後も継続して事業を実施し、高年齢者の生きがいづくり、健康増進を図ります。		
今後の方針等		

令和5年度 事務事業評価表

9332

一般会計

事務事業名	老人クラブ育成支援事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	人の健康・いつまでも元気でいられるまち		
	個別目標	健康寿命を延伸する		
	めざす成果	一人ひとりが健康づくりに取り組み元気で暮らしている		
根拠法令	名 称	老人福祉法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間	
	昭和38年度		設定無し	

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費				(単位 : 千円)	
		4年度 (決算額)	5年度 (決算額)	6年度 (予算額)		
	事業費	11,678	11,409	11,535		
	人件費	462	376	376		
目的	総事業費	12,140	11,785	11,911		
概ね60歳以上であるシニアクラブ会員が、健康づくり・生きがいづくりを図ることを支援します。	6年度事業費 (予算額) 財源内訳					
	国支出金			0		
	県支出金			1,746		
	市債			0		
	その他			0		
	一般財源			9,789		
	合 計			11,535		
3. 活動内容						
手段、手法【実施手法：直営】	活動指標1	名称	単位シニアクラブ数		単位	クラブ
	指標値	内容説明	大和市シニアクラブ連合会加入のシニアクラブ数			
		4年度	5年度 (当該年度)	6年度		
		予 定	73	65	65	
成 果（効果・予測）	活動指標2	名称	シニアクラブ会員数		単位	人
		内容説明				
		指標値	4年度	5年度 (当該年度)	6年度	
			予 定	3,500	3,000	2,800
課 題	活動指標3	名称			単位	
		内容説明				
		指標値	4年度	5年度 (当該年度)	6年度	
			予 定			
	活動指標4	名称			単位	
		内容説明				
		指標値	4年度	5年度 (当該年度)	6年度	
			予 定			

4. 今後の方針等

今後の方針等	3年度	I : 現状のまま継続	4年度	I : 現状のまま継続	5年度	I : 現状のまま継続
	・高齢社会の進展とともに、高年齢者自身の生きがいや地域福祉への貢献等、シニアクラブが果たす役割は非常に大きくなるため、当該事業を継続します。 ・シニアクラブの課題について、シニアクラブ連合会と協力しながら検討していきます。					

令和5年度 事務事業評価表

9333

一般会計

事務事業名	老人福祉センター運営事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者

健康福祉部 人生100年推進課 長寿福祉係 民實 健二

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	人の健康・いつまでも元気でいられるまち		
	個別目標	健康寿命を延伸する		
	めざす成果	一人ひとりが健康づくりに取り組み元気で暮らしている		
根拠法令	名 称	老人福祉法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		一部有		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間	

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費 (単位 : 千円)			
		4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）
60歳以上の市民	事業費	4,744	4,975	5,687
	人件費	1,489	1,502	2,253
	総事業費	6,233	6,477	7,940
6年度事業費（予算額）財源内訳				
国支出金				
県支出金				
市債				
その他				
一般財源				
合 計				

3. 活動内容

活動指標1	名称	サークル活動での利用者数			単位	人
	内容説明	年間のサークル活動の延べ利用者数				
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度		
活動指標2	予 定	12,000	15,000	16,000		
	実 績	16,034	16,018	---		
	名称				単位	
活動指標3	内容説明					
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度		
	予 定					
活動指標4	実 績			---		
	名称				単位	
	内容説明					
活動指標4	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度		
	予 定					
	実 績			---		

4. 今後の方針等

3年度 I : 現状のまま継続	4年度 I : 現状のまま継続	5年度 I : 現状のまま継続
利用者同士の仲間づくり、サークル活動による生きがいづくりの場として運営していきます。		
今後の方針等		

令和5年度 事務事業評価表

9337
一般会計

事務事業名	在宅介護支援センター事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	人の健康・一人ひとりがささえの手を実感できるまち		
	個別目標	高齢の方や障がいのある方への支援を充実する		
	めざす成果	高齢の方やその家族が、不安・負担を取り除くために必要な支援を受けられる		
根拠法令	名 称	老人福祉法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度	平成03年度	事業終了（予定）年度	事業期間 設定無し

2. 事務事業の概要

対象	総事業費				(単位：千円)
		4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）	
緊急通報システム、紙おむつ支給事業の対象となる65歳以上の市民	事業費	800	800	800	
	人件費	74	75	75	
	総事業費	874	875	875	
目的	6年度事業費（予算額）財源内訳				
	国支出金				0
	県支出金				0
	市債				0
	その他				0
	一般財源				800
	合 計				800
3. 活動内容					
活動指標1	名称	相談件数			単位 件
	内容説明	相談件数			
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定	75	70	60
活動指標2	名称				単位
	内容説明				
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定			
活動指標3	名称				単位
	内容説明				
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定			
活動指標4	名称				単位
	内容説明				
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定			

課題

- 高齢の方に対するより効果的な支援を実施するためには、在宅介護支援センターと地域包括支援センター、介護事業者、地区民生委員、ボランティア等の連携を推進する必要があります。

4. 今後の方針等

今後の方針等	3年度	I : 現状のまま継続	4年度	I : 現状のまま継続	5年度	I : 現状のまま継続
	在宅介護支援センターは、介護に関する地域の身近な相談窓口として、地域の高齢化率の進捗状況を勘案しつつ、地域包括支援センターとの役割を整理し、引き続き事業を行います。					

令和5年度 事務事業評価表

9340
一般会計

事務事業名	まごころ地域福祉センター運営事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	人の健康・一人ひとりがささえの手を実感できるまち		
	個別目標	高齢の方や障がいのある方への支援を充実する		
	めざす成果	高齢の方やその家族が、不安・負担を取り除くために必要な支援を受けられる		
根拠法令	名 称	老人福祉法		
		介護保険法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		無		
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間	
	平成13年度		設定無し	

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費				(単位 : 千円)	
		4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）		
市民（事業者等含む）	事業費	20, 541	14, 232	17, 766		
まごころ地域福祉センター	人件費	4, 468	1, 502	3, 004		
	総事業費	25, 009	15, 734	20, 770		
6年度事業費（予算額）財源内訳						
	国支出金				0	
	県支出金				0	
	市債				0	
	その他				1, 410	
	一般財源				16, 356	
	合 計				17, 766	

3. 活動内容

活動指標1	名称	開館日数			単位	日
	内容説明	まごころ地域福祉センターを運営している日数				
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度		
		予 定	293	293	293	
	活動指標2	実 績	293	293	---	---
		名称				単位
		内容説明				
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度		
		予 定				
	活動指標3	実 績			---	---
		名称				単位
		内容説明				
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度		
		予 定				
	活動指標4	実 績			---	---
		名称				単位
		内容説明				
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度		
		予 定				
	指標値	実 績			---	---

4. 今後の方針等

3年度	I : 現状のまま継続	4年度	I : 現状のまま継続	5年度	I : 現状のまま継続
指定管理者と協力しながら、引き続き、より良い運営に努めます。					
今後の方針等					

令和5年度 事務事業評価表

9342

一般会計

事務事業名	短期入所事業（高齢者）			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	人の健康・一人ひとりがささえの手を実感できるまち		
	個別目標	高齢の方や障がいのある方への支援を充実する		
	めざす成果	高齢の方やその家族が、不安・負担を取り除くために必要な支援を受けられる		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無	無			
事務事業の期間	事業開始年度 平成12年度	事業終了（予定）年度	事業期間 設定無し	

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費				(単位 : 千円)
		4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）	
	事業費	1,336	2,064	2,100	
	人件費	372	2,253	2,253	
目的	総事業費	1,708	4,317	4,353	
介護者不在等で在宅生活が困難な高齢の方の生活の場を確保します。	6年度事業費（予算額）財源内訳				
	国支出金			0	
	県支出金			0	
	市債			0	
	その他			0	
	一般財源			2,100	
	合 計			2,100	

3. 活動内容

活動指標1	名称	緊急一時入所利用者数			単位	人
	内容説明	利用延べ人数				
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度		
活動指標2	予 定	27	20	20		
	実 績	12	17	---		
	名称	緊急一時入所利用日数			単位	日
活動指標3	内容説明	利用延べ日数				
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度		
	予 定	450	500	500		
活動指標4	実 績	477	730	---		
	名称				単位	
	内容説明					
課 題	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度		
	予 定					
	実 績			---		

4. 今後の方針等

今後の方針等	3年度 I : 現状のまま継続	4年度 I : 現状のまま継続	5年度 I : 現状のまま継続
緊急時に利用する制度であることから、円滑な受け入れが可能となるよう引き続き体制を維持します。			

令和5年度 事務事業評価表

9343
一般会計

事務事業名	敬老祝品等支給事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	人の健康・いつまでも元気でいられるまち		
	個別目標	健康寿命を延伸する		
	めざす成果	一人ひとりが健康づくりに取り組み元気で暮らしている		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無	無			
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間	設定無し
昭和52年度				

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費				(単位 : 千円)
		4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）	
	事業費	3,254	3,253	4,826	
	人件費	4,321	6,008	6,008	
80歳、88歳、90歳、95歳、99歳及び100歳以上の方	総事業費	7,575	9,261	10,834	
目的	6年度事業費（予算額）財源内訳				
多年にわたり社会に尽くしてきた高年齢者に対し、敬老祝品、祝状を贈呈し、感謝と敬意を表するとともに、民生委員児童委員による見守り活動へつなぎます。	国支出金				0
手段、手法【実施手法：直営】	県支出金				0
敬老祝品、祝状を毎年9月に贈呈します。	市債				0
	その他				0
	一般財源			4,826	
	合 計			4,826	

3. 活動内容

活動指標1	名称	敬老祝品支給者数			単位	人
	内容説明	敬老祝品支給対象者の内、実際に敬老祝品を支給できた人数				
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度		
活動指標2	予 定	2,026	2,112	2,315		
	実 績	1,944	2,130	---		
	名称				単位	
活動指標3	内容説明					
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度		
	予 定					
活動指標4	実 績				---	
	名称				単位	
	内容説明					
課 題	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度		
	予 定					
	実 績				---	
活動指標4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度		

4. 今後の方針等

3年度 I : 現状のまま継続	4年度 I : 現状のまま継続	5年度 II : 見直しのうえで継続
贈呈対象者の意見を聴きながら、祝品を検討します。		
今後の方針等		

令和5年度 事務事業評価表

9346
一般会計

事務事業名	はり・きゅう・マッサージ治療費助成事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	人の健康・いつまでも元気でいられるまち		
	個別目標	健康寿命を延伸する		
	めざす成果	一人ひとりが健康づくりに取り組み元気で暮らしている		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無	無			
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間	設定無し
	昭和54年度			

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費				(単位 : 千円)	
		4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）		
	事業費	7,336	7,203	8,134		
	人件費	1,791	1,127	1,127		
目的	総事業費	9,127	8,330	9,261		
高年齢者の健康増進を図ります。	6年度事業費（予算額）財源内訳					
	国支出金				0	
	県支出金				0	
	市債				0	
	その他				3,789	
	一般財源				4,345	
	合 計				8,134	
3. 活動内容						
手段、手法【実施手法：委託】	活動指標1	名称	交付人数		単位	人
	内容説明	受療助成券を交付した人数				
		指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		予 定	2,800	2,800	2,500	
成 果（効果・予測）	活動指標2	名称	受療件数		単位	件
		内容説明	助成券を使用し、受療した件数			
			指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
		予 定	9,000	9,000	8,000	
課 題	活動指標3	名称			単位	
		内容説明				
			指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
		予 定				
今後の方針等	活動指標4	名称			単位	
		内容説明				
			指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度
		予 定				

4. 今後の方針等

3年度	I : 現状のまま継続	4年度	I : 現状のまま継続	5年度	I : 現状のまま継続
実施状況を注視しながら、事業の方向性について検討します。					
今後の方針等					

令和5年度 事務事業評価表

9347
一般会計

事務事業名	施設入所等措置事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	人の健康・一人ひとりがささえの手を実感できるまち		
	個別目標	高齢の方や障がいのある方への支援を充実する		
	めざす成果	高齢の方やその家族が、不安・負担を取り除くために必要な支援を受けられる		
根拠法令	名 称	老人福祉法		
当該事業の法令等による義務付けの有無	有			
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間	設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費				(単位 : 千円)	
		4年度 (決算額)	5年度 (決算額)	6年度 (予算額)		
心身の機能が衰え日常生活に支障があり、居住の確保に困っている等、在宅生活が困難で、原則65歳以上の低所得の高齢の方	事業費	44,166	52,980	60,080		
	人件費	3,724	5,257	5,257		
	総事業費	47,890	58,237	65,337		
6年度事業費（予算額）財源内訳						
		国支出金				0
		県支出金				0
		市債				0
		その他				9,964
		一般財源				50,116
		合 計				60,080
3. 活動内容						
手段、手法【実施手法：直営】 ・相談、通報時において、経済的及び環境上の理由等により、居宅での養護や介護サービスの利用が困難である高齢の方に対して、老人福祉法に基づく措置を行います。	活動指標1	名称	養護老人ホーム入所申請受付数	単位	件	
	指標値	内容説明	高齢者・保健福祉サービス審議会での入所決定件数			
		4年度	5年度（当該年度）	6年度		
		予 定	4	4	4	
成 果（効果・予測） 経済的及び環境上の理由等により在宅生活が困難な高齢の方が、施設に入所することによって生活を維持することができます。	活動指標2	名称	養護老人ホーム新規入所者数	単位	人	
		内容説明	入所者数			
		4年度	5年度（当該年度）	6年度		
	指標値	予 定	4	4	4	
		実 績	7	4	---	
課 題 入所者は個々に様々な課題を持っていることから、施設との連携を密に取りながら、適切に対応していく必要があります。	活動指標3	名称	養護老人ホーム被措置者数	単位	人	
		内容説明	年度末被措置者数			
		4年度	5年度（当該年度）	6年度		
	指標値	予 定	15	20	20	
		実 績	20	20	---	
今後の方針等 措置を必要とする高年齢者の適切な処遇の確保に努めます。	活動指標4	名称		単位		
		内容説明				
		4年度	5年度（当該年度）	6年度		
	指標値	予 定				
		実 績			---	

4. 今後の方針等

3年度	I : 現状のまま継続	4年度	I : 現状のまま継続	5年度	I : 現状のまま継続
措置を必要とする高年齢者の適切な処遇の確保に努めます。					
今後の方針等					

令和5年度 事務事業評価表

9348
一般会計

事務事業名	高齢者・保健サービス審議会運営事業		
事務事業担当	部 名	課 名	担当名 責任者

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	人の健康・一人ひとりがささえの手を実感できるまち	
	個別目標	高齢の方や障がいのある方への支援を充実する	
	めざす成果	高齢の方やその家族が、不安・負担を取り除くために必要な支援を受けられる	
根拠法令	名 称	老人福祉法	
当該事業の法令等による義務付けの有無	有	事業開始年度	事業終了（予定）年度
事務事業の期間	平成20年度		事業期間 設定無し

2. 事務事業の概要

対象	総事業費 (単位 : 千円)			
		4年度 (決算額)	5年度 (決算額)	6年度 (予算額)
要援護高齢者	事業費	171	162	256
	人件費	74	75	75
	総事業費	245	237	331
6年度事業費 (予算額) 財源内訳				
目的 老人福祉法に基づく福祉の措置に関する事項について審議を行います。	国支出金			0
	県支出金			0
	市債			0
	その他			0
	一般財源			256
	合 計			256
3. 活動内容				
手段、手法【実施手法：直當】 本審議会は医療・保健・福祉部門の10人の委員で構成し、所管課で調査、収集した情報に基づき措置の可否、妥当性を審議します。	活動指標1	名称 高齢者・保健サービス審議会	単位 回	
	内容説明	開催回数		
		4年度	5年度 (当該年度)	6年度
		予 定	3	3
成果(効果・予測) 外部の専門的知識、経験を持つ委員による審議を経ることにより、客観的視点に基づき措置の可否を判断できます。	活動指標2	名称 高齢者・保健サービス審議会	単位 人	
			判定人数	
			4年度	5年度 (当該年度)
	指標値	予 定	3	3
			実 績	2
課題 いつ発生するか予測できない措置事務に柔軟に対応すべく努めていますが、審議対象者の情報収集及び整理に時間を要しています。	活動指標3	名称	単位	
		内容説明		
			4年度	5年度 (当該年度)
	指標値	予 定	3	3
			実 績	7
	活動指標4	名称	単位	
		内容説明		
			4年度	5年度 (当該年度)
	指標値	予 定		
			実 績	

4. 今後の方針等

3年度 I : 現状のまま継続	4年度 I : 現状のまま継続	5年度 I : 現状のまま継続
高年齢者の生命と身体の安全を確保し、必要な措置を探ることができるよう、迅速かつ適切に審議会の開催及び審議を行います。		
今後の方針等		

令和5年度 事務事業評価表

9349
一般会計

事務事業名	老人福祉施設運営支援事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	人の健康・一人ひとりがささえの手を実感できるまち		
	個別目標	高齢の方や障がいのある方への支援を充実する		
	めざす成果	高齢の方やその家族が、不安・負担を取り除くために必要な支援を受けられる		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無	無			
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間	
	昭和44年度		設定無し	

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費				(単位 : 千円)
		4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）	
	事業費	353	353	353	
	人件費	74	75	75	
措置施設を運営する社会福祉法人	総事業費	427	428	428	
目的	6年度事業費（予算額）財源内訳				
措置施設を運営する社会福祉法人に対して施設職員の研修費の一部の補助を行い、施設利用者のサービス向上を図ります。	国支出金				0
手段、手法【実施手法：委託】	県支出金				0
4月1日に在職する常勤の職員数に補助単価（23,500円）を乗じて得た額を補助金として交付します。	市債				0
	その他				0
	一般財源				353
	合 計				353

3. 活動内容

活動指標1	名称	補助金額			単位	千円
	内容説明	常勤職員一人につき23,500円を補助				
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度		
活動指標2	予 定	353	353	353		
	実 績	353	353	---		---
活動指標3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度		
活動指標4	予 定					
	実 績					---

4. 今後の方針等

3年度	I : 現状のまま継続	4年度	I : 現状のまま継続	5年度	I : 現状のまま継続
養護老人ホームを補助対象としている現在の内容で事業を実施していきます。					
今後の方針等					

令和5年度 事務事業評価表

16885

一般会計

事務事業名	福寿手帳（カード）交付事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	人の健康・いつまでも元気でいられるまち		
	個別目標	健康寿命を延伸する		
	めざす成果	一人ひとりが健康づくりに取り組み元気で暮らしている		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無	無			
事務事業の期間	事業開始年度	事業終了（予定）年度	事業期間	設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費				(単位 : 千円)	
		4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）		
	事業費	0	0	0	人件費	
	総事業費	74	75	75	合 计	
6年度事業費（予算額）財源内訳						
国支出金						0
県支出金						0
市債						0
その他						0
一般財源						0
合 計						0

3. 活動内容

目的	名称	交付者数			単位	人
	内容説明	年間カード交付者数				
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度		
		予 定	240	240	320	
手段、手法【実施手法：直営】		実 績	267	317	---	---
成 果（効果・予測）	名称				単位	
	内容説明					
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度		
		予 定				
保健福祉センター、各分室及び各連絡所において希望者（もしくは代理人）からの申請を受け、福寿カードを交付します。		実 績			---	---
課 題	名称				単位	
	内容説明					
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度		
		予 定				
特にありません。		実 績			---	---
活動指標1	名称				単位	
	内容説明					
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度		
		予 定				
活動指標2		実 績			---	---
活動指標3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度		
		予 定				
活動指標4		実 績			---	---
活動指標5	名称				単位	
	内容説明					
	指標値	4年度	5年度（当該年度）	6年度		
		予 定				
活動指標6		実 績			---	---

4. 今後の方針等

3年度	I : 現状のまま継続	4年度	I : 現状のまま継続	5年度	I : 現状のまま継続
広報やまとめやホームページにて、今後も周知を図ります。					
今後の方針等					

令和5年度 事務事業評価表

24313

一般会計

事務事業名	高齢者保健福祉計画運営管理事務			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	人の健康・一人ひとりがささえの手を実感できるまち		
	個別目標	高齢の方や障がいのある方への支援を充実する		
	めざす成果	高齢の方やその家族が、不安・負担を取り除くために必要な支援を受けられる		
根拠法令	名 称	老人福祉法		
		介護保険法		
		健康増進法		
当該事業の法令等による義務付けの有無		有		
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度	事業期間
				設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費				(単位 : 千円)	
		4年度(決算額)	5年度(決算額)	6年度(予算額)		
高齢者保健福祉計画	事業費	0	0	0		
	人件費	745	3,755	751		
	総事業費	745	3,755	751		
6年度事業費(予算額)財源内訳						
	国支出金				0	
	県支出金				0	
	市債				0	
	その他				0	
	一般財源				0	
	合 計				0	

3. 活動内容

活動指標1	名称	審議会開催数			単位	回
	内容説明	計画の審議会会議の開催数（書面開催含む）				
	指標値	4年度	5年度(当該年度)	6年度		
活動指標2	予 定	2	5	1		
	実 績	2	5	---		
	名称				単位	
活動指標3	内容説明					
	指標値	4年度	5年度(当該年度)	6年度		
	予 定					
活動指標4	実 績			---		
	名称				単位	
	内容説明					
課 題	指標値	4年度	5年度(当該年度)	6年度		
	予 定					
	実 績			---		

4. 今後の方針等

今後の方針等	3年度 I : 現状のまま継続	4年度 I : 現状のまま継続	5年度 I : 現状のまま継続	
第9期計画の進行管理を行います。				

令和5年度 事務事業評価表

32727

一般会計

事務事業名	地域の相談所・居場所運営事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	健康福祉部	人生100年推進課	長寿福祉係	民實 健二

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	人の健康・一人ひとりがささえの手を実感できるまち		
	個別目標	高齢の方や障がいのある方への支援を充実する		
	めざす成果	高齢の方やその家族が、不安・負担を取り除くために必要な支援を受けられる		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無	無			
事務事業の期間	事業開始年度 平成25年度	事業終了（予定）年度	事業期間 設定無し	

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費				(単位 : 千円)	
		4年度 (決算額)	5年度 (決算額)	6年度 (予算額)		
市内在住者	事業費	3,872	4,084	5,029		
	人件費	2,234	2,253	2,253		
	総事業費	6,106	6,337	7,282		
目的 地域住民の相談所・居場所づくりとして相談窓口・居場所を設置し、高年齢者をはじめとする多様な世代の地域福祉に寄与します。	6年度事業費 (予算額) 財源内訳					
	国支出金					0
	県支出金					0
	市債					0
	その他					0
	一般財源			5,029		
手段、手法【実施手法：直営】 ・地域住民の相談所・居場所「ぷらっと」を開設します。 ・開設・運営には会計年度任用職員を配置し、現地での話し相手や相談窓口として、また各種活動、催し等の調整等を行います。	合 計					
	合 計					5,029
成果(効果・予測) 高年齢者をはじめ、地域の方々の相談所・居場所としての機能のほか、地域の自治会・ボランティアの活動拠点及び地域住民の自主的、ボランタリーな活動を支援する場として機能することで、地域の多世代間交流を手助けする効果が期待できます。	3. 活動内容					
	活動指標1	名称	年間来場者数		単位	人
		内容説明	当該施設に来所した延べ人数			
			4年度	5年度 (当該年度)	6年度	
		指標値	予 定	15,000	25,000	32,000
			実 績	24,719	31,258	---
	活動指標2	名称				
		内容説明				
			4年度	5年度 (当該年度)	6年度	
		指標値	予 定			
			実 績			---
	活動指標3	名称				
課 題 利用者数は年々増加しているが、利用者の定着および更なる拡大に向け、地域住民への周知を積極的に行う必要があります。		内容説明				
			4年度	5年度 (当該年度)	6年度	
		指標値	予 定			
			実 績			---
	活動指標4	名称				
		内容説明				
今後の方針等			4年度	5年度 (当該年度)	6年度	
		指標値	予 定			
			実 績			---

4. 今後の方針等

3年度	I : 現状のまま継続	4年度	I : 現状のまま継続	5年度	I : 現状のまま継続
今後の方針等					
	・引き続き、相談所・居場所の安定運営に努めます。				

令和5年度 事務事業評価表

47305

一般会計

事務事業名	まごころ地域福祉センター改修事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	人の健康・一人ひとりがささえの手を実感できるまち		
	個別目標	高齢の方や障がいのある方への支援を充実する		
	めざす成果	高齢の方やその家族が、不安・負担を取り除くために必要な支援を受けられる		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無	無			
事務事業の期間	事業開始年度 令和05年度	事業終了（予定）年度 令和05年度	事業期間 1年	

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費				(単位 : 千円)	
		4年度 (決算額)	5年度 (決算額)	6年度 (予算額)		
大和市まごころ地域福祉センター	事業費	0	118,820	0		
	人件費	0	225	0		
	総事業費	0	119,045	0		
目的	6年度事業費（予算額）財源内訳					
	国支出金					0
	県支出金					0
	市債					0
	その他					0
	一般財源					0
	合 計					0
3. 活動内容						
活動指標1	名称	工事完了進捗率			単位	%
	内容説明	工事の進捗率				
		4年度	5年度（当該年度）	6年度		
	指標値	予 定	0	100	0	
活動指標2	名称				単位	
	内容説明					
		4年度	5年度（当該年度）	6年度		
	指標値	予 定				
活動指標3	名称				単位	
	内容説明					
		4年度	5年度（当該年度）	6年度		
	指標値	予 定				
活動指標4	名称				単位	
	内容説明					
		4年度	5年度（当該年度）	6年度		
	指標値	予 定				

4. 今後の方針等

3年度	—	4年度	—	5年度	III : 廃止または終了
改修工事が完了したため。					
今後の方針等					

令和5年度 事務事業評価表

47441

一般会計

事務事業名	社会福祉施設等物価高騰対策支援事業（高齢者福祉施設分）			
事務事業担当	部 名 健康福祉部	課 名 人生100年推進課	担当名 長寿福祉係	責任者 民實 健二

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標	人の健康・一人ひとりがささえの手を実感できるまち		
	個別目標	高齢の方や障がいのある方への支援を充実する		
	めざす成果	高齢の方やその家族が、不安・負担を取り除くために必要な支援を受けられる		
根拠法令	名 称			
当該事業の法令等による義務付けの有無	有			
事務事業の期間	事業開始年度 令和05年度	事業終了（予定）年度 令和05年度	事業期間 1年	

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費				(単位 : 千円)	
		4年度（決算額）	5年度（決算額）	6年度（予算額）		
市内の高齢者福祉施設	事業費	0	3,968	0		
	人件費	0	150	0		
	総事業費	0	4,118	0		
目的 原油価格・物価高騰の影響を受ける高齢者福祉施設の負担を軽減するため、光熱費、燃料費、食材費の支援を行います。 手段、手法【実施手法：直営】 ・法人からの申請に基づき、支援金を交付します。	6年度事業費（予算額）財源内訳					
	国支出金					0
	県支出金					0
	市債					0
	その他					0
	一般財源					0
	合 計					0
成果（効果・予測） 原油価格・物価高騰の影響を受ける高齢者福祉施設の負担を軽減し、施設運営の安定化を図ります。	3. 活動内容					
	活動指標1	名称	支援金交付施設数		単位	ヶ所
		内容説明	支援金を交付した施設の数			
			4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		指標値	予 定	0	3	0
			実 績	0	3	---
	活動指標2	名称			単位	
		内容説明				
			4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		指標値	予 定			
			実 績			---
課 題 今後の物価の推移を注視する必要があります。	活動指標3	名称			単位	
		内容説明				
			4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		指標値	予 定			
			実 績			---
	活動指標4	名称			単位	
今後の方針等 当該補助事業が終了したため。		内容説明				
			4年度	5年度（当該年度）	6年度	
		指標値	予 定			
			実 績			---

4. 今後の方針等

3年度	—	4年度	—	5年度	III : 廃止または終了
今後の方針等	当該補助事業が終了したため。				